

特殊詐欺にあわない強い地域づくりを！

北海道警察の特殊詐欺事件発生状況によると、2024年1月～7月までの認知件数は76件、被害金額が約2億2,300万円で前年に比べ約200万円増加しています。さらに、SNS型投資・ロマンス詐欺の被害状況は103件、被害金額が約16億1,200万円と急増。合わせると約18億3,500万円にものぼります。そこで、高齢者だけではなく、成人層も「自分事として」より多くの手口を知り、被害にあわないように気をつけましょう。

【事例1】80歳代 女性 他市

息子から電話があり、「職場の女性を妊娠させた。裁判費用が必要なんだ。母さん助けてくれないか」と言われ、指定された住所に600万円を送った。

さらに、自宅を訪ねてきた弁護士事務所の職員を名乗る男性に計2100万円を手渡した。

帰省した息子に話をすると、自分は電話をしていないと言い、詐欺にあったことに気がついた。

【事例2】40歳代 男性 士別市

SNSで女性と出会い、暗号資産を勧められ始めた。ドル建てで投資し最初5万円、その後積立貯金を取り崩し450万円。クレジットカード2社から50万円キャッシングをして送金した。儲けも出て50万円が自分の指定した金融機関に入金されたため信用して、その後10万円を入金した。

しかし、今オンラインサポートからマネーロンダリングが行われている可能性があり保証金として100万円を7日以内に入金するよう請求されている。母親は騙されていると言う。

【ひとこと助言】

- 事例1の「オレオレ詐欺」は6月に近隣市で被害にあった事例です。特殊詐欺の中でも一番古典的な手口ですが、未だ被害が後を絶ちません。息子や孫になりすました犯人は電話で仕事や女性関係のトラブルなどを口実にお金を要求する詐欺です。
- 事例2は「ロマンス投資詐欺」で、恋愛感情や親切心を利用しています。これは「国際ロマンス詐欺」とSNSをきっかけとした「投資詐欺」が合わさった手口です。事例の相談者は投資自体に興味はありませんが、女性との関係を崩したくなく投資を続けていました。SNSやマッチングアプリなどで知り合った面識のない相手から暗号資産の投資を勧められた際は、まず詐欺的な投資話を疑ってください。相手と連絡が取れなくなる可能性もあり、入金したお金を回収することは極めて困難です。
- 不審な電話があれば下記消費生活センターか警察に相談、情報提供をお願いします。

消費生活相談専用ダイヤル (0165)23-3820

午前8時30分～午後5時15分（土・日・祝日・年末年始を除く）

■事業者と消費者間の契約に関するトラブルや、消費生活で悩んでいる方専用
来所相談、電話相談、電子フォームでのご相談も受けています

